



# 大 樹

岩田小学校たより No.9

令和3年9月13日

～志をもって 進んで考動する子～

## 岩田小の自慢 一輪車

一輪車は、岩田小の「校技」であり、岩田小ならではの特色ある取組です。

岩田小卒業生の保護者の方々も、小学生のころに一輪車を練習されたという話を伺いました。一輪車の練習においては、保護者の方々にも協力していただき、休みの日に練習するために学校へ付いてきてくださったり、御家庭で声掛けしていただいたりし、常に応援していただき、ありがとうございます。

一輪車で身に付く力として、「平衡感覚、反射神経、敏捷性・・・」「集中力、あきらめない心、協調性」等が挙げられます。子どもたちが、今後も目標をもって取り組むことで、体力や精神面がさらに成長できるよう支援していきたいと考えています。

一方、一輪車による「けが」が1学期に33件あり、大きな「けが」につながってはいけないという心配がありました。そこで、改めて職員が一輪車について学ぶ必要があると考え、夏休みに、講師の方をお招きして一輪車乗りや集団演技について研修する機会をもちました。

お招きした講師の方は、市内で活動されている「IWATA クローバーカイト」さんの指導者：中尾氏です。中尾氏から教えていただいたことをもとに、9日（木）の岩っ子タイムで全校で共通理解を図りました。

### 岩田小学校 一輪車について

- ①一輪車の管理
- ②一輪車のポイント
- ③運動会の集団演技



岩っ子タイムに各教室で見たスライドより

### ～ 一輪車乗りの基本 ～

1. **一輪車の管理**  
タイヤの空気圧  
サドルの高さ  
(おへその高さ位がよい)
2. **一輪車のポイント**
  - ・ **姿勢** が大切  
(背筋を伸ばしたよい姿勢)
  - ・ **サドルをもって片足ずつ後ろに降りる。**  
両足で降りる → 落車  
片足ずつ降りる → 降車 ○
3. **集団演技**
  - ・ 手をつなぐ演技は、6人以下  
(学級全員で手をつなぐことは危険)

例年、運動会で、一輪車の集団演技を披露しています。学級全員で手をつないだ技に挑戦し、みんなで一つのことに向かって練習を積み上げたり、達成感を味わったりし、子どもの育ちにプラスに働いてきました。このように、一輪車をもたらす教育効果を認識する一方、講師の方の講話を受け、今まで以上に安全面や子どもの個々の一輪車の技術面の違いなど、配慮すべき点について見直す必要性を実感しました。

これからも、子どもたちの頑張りを応援しながら、指導・支援をしていきます。

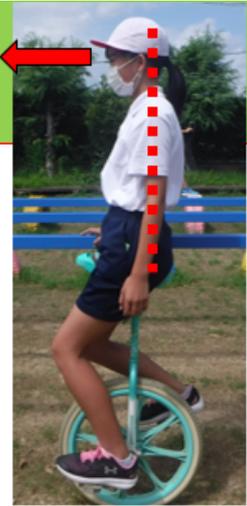
## 2. 一輪車のポイント

### ①姿勢について

サドルから上の部分は、真っすぐ垂直の背筋が伸びた姿勢が基本

目線(顔)は正面を見て、決して下を見ないこと。

ポイント:一輪車に乗っているときは、9割以上の体重がサドルにかかるように心がける。足に体重をかけない。



### ②足を置く位置について

ペダルに置く足の位置は、土踏まずよりもつま先よりに乗せる。



土踏まずで乗ると、足に体重がかけやすくなる。



岩っ子タイムの一輪車学習後、早速、学んだことを生かして練習する子どもたち

3回以上たたけたよ!



背筋を伸ばして!! 姿勢よくね!  
つま先でこくと、こぎやすい!



岩っ子タイムで学んだことを、  
1年生が下校前にチャレンジ

4年生: 体育の授業の前に練習

(一輪車に乗り、クランクを水平にした状態で、補助から手を放し、手を3回以上叩くことができるようになります。)



